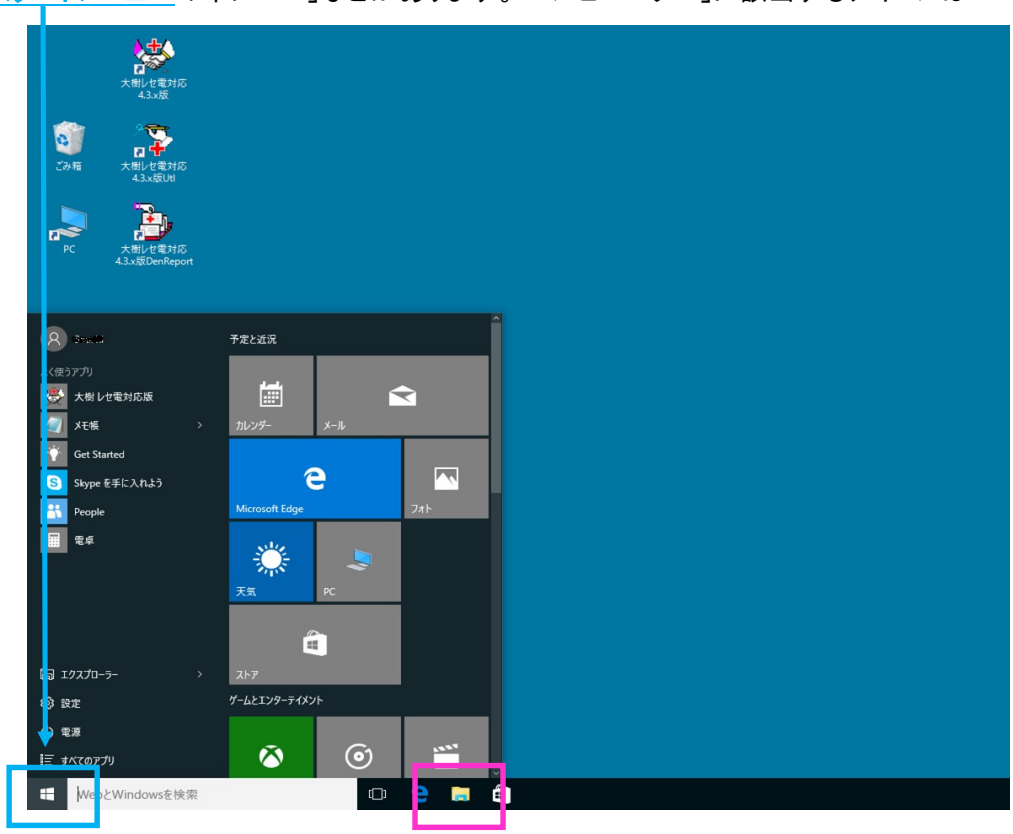
基本的には Win8.1 と同様です。

スタートメニューが XP や Windows7 など従来の Windows らしさと Win8.1 の新しさが融合しております。

スタートメニューの中に「PC」などがあります。「コンピューター」に該当するアイコンは「PC」です。



またデスクトップ画面の下部にエクスプローラーがあります。

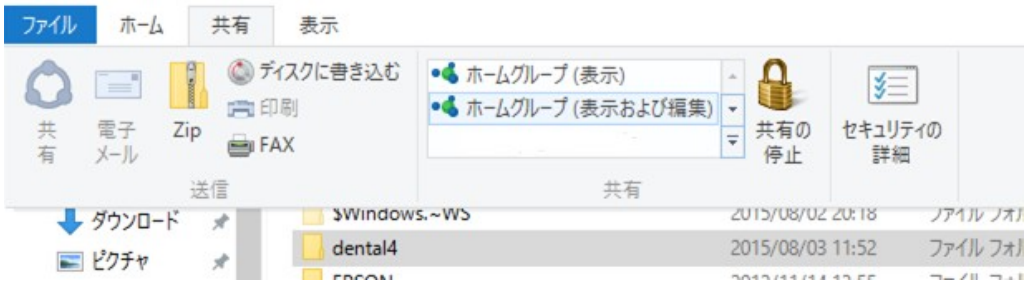
※エクスプローラーは「コンピューター」や「PC」とお考えください。

dental4 フォルダの共有方法

dental4 フォルダを選択し、上部の「共有」をクリックすると下記の画面が表示されます。

ホームグループ（表示および編集）で共有されます。（ホームグループに参加させておく必要があります。）

または、dental4 フォルダを右クリックで「共有」を選択し、ホームグループ（表示および編集）で共有できます。

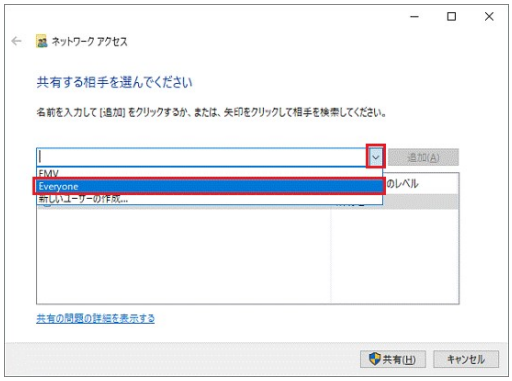


ホームグループが無い場合。

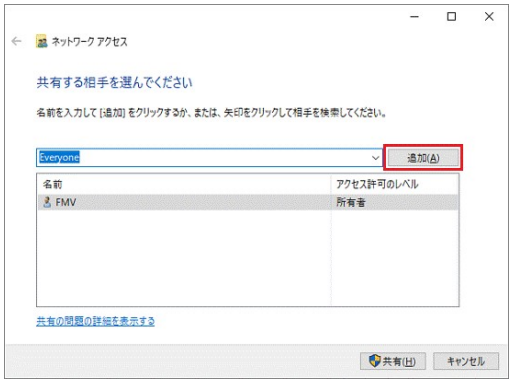
最新の Windows 10 はホームグループが存在しない場合があります。
（ホームグループの機能は、Windows 10 April 2018 Update（1803）で削除されました）**従って、**
Dental4 フォルダを共有するには。

1. Dental4 フォルダ右クリックし、
[アクセスを許可する]→[特定のユーザー] の順に選択します。

2. 「ファイルの共有」が表示されます。
「追加」ボタンの左に表示されている「 」ボタンをクリックし、
表示される一覧から「Everyone」をクリックします。



3. 「追加」ボタンをクリックし、下の一覧に追加します。



4. 追加したユーザーの「アクセス許可のレベル」の項目の「▼」をクリックし、
「読み取り/書き込み」にします。

5. 設定が完了したら、「共有」ボタンをクリックします。

6. 「終了」クリックです。
「×」ボタンをクリックし、共有の設定をしたフォルダが表示されている画面を閉じます。

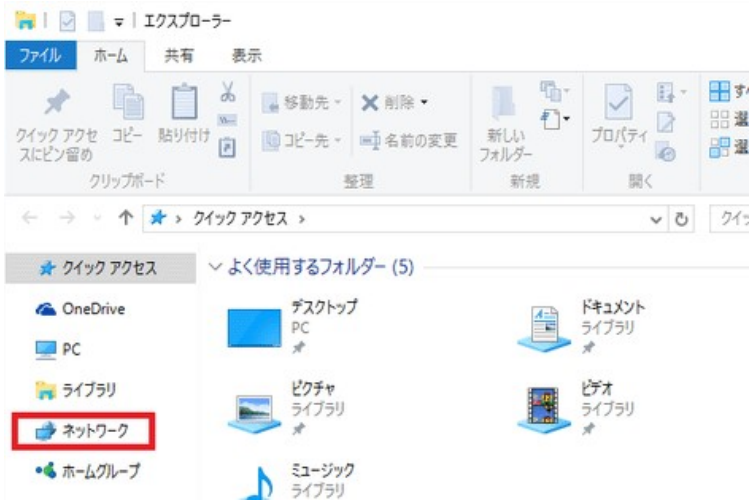
以上でフォルダの共有に必要な設定は完了です。

共有したフォルダにアクセスできるかどうかを確認します。

ネットワーク内の他のパソコンで共有した Dental4 フォルダにアクセスできるかを確認します。

1. Windows「スタート」ボタンを右クリック→「エクスプローラー」の順にクリックします。

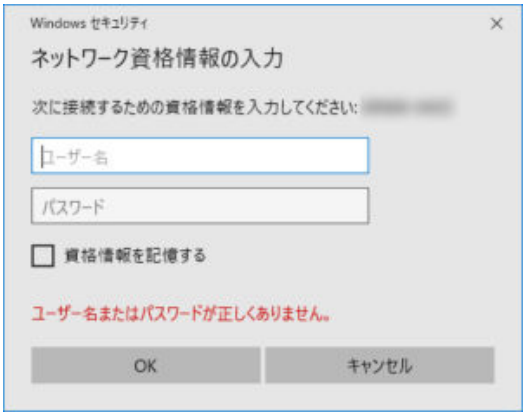
2. ネットワークをクリックします。



※ この際「ネットワーク検索が無効になっています。,,,,,,,,変更するにはクリックしてください。」と表示される場合、クリックして「ネットワーク検索とファイルの共有の有効化」をクリックしてください。

3. 「ネットワーク」が表示されます。
   別のパソコン（サーバー側で操作しているならばクライアント）
   （クライアント側で操作しているならサーバー）のコンピューター名をダブルクリックします。

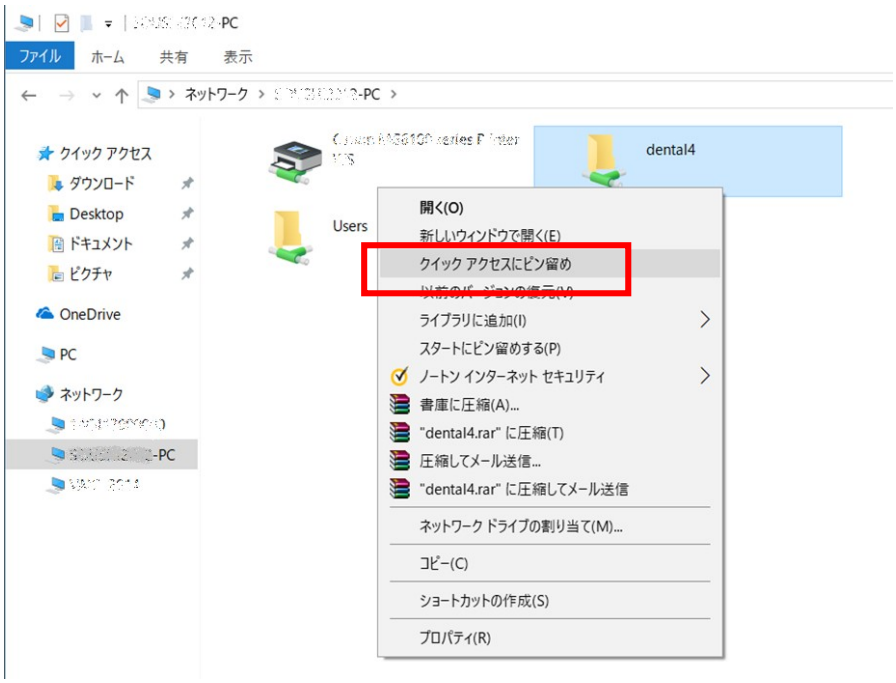
4. 「ネットワーク　パスワードの入力」と表示されたときは、パソコンに設定されている
   ユーザー名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。
   （パソコン起動時に表示されるユーザー名とパスワード）です。
   ※パソコンにパスワードが設定されていない場合は設定してください。



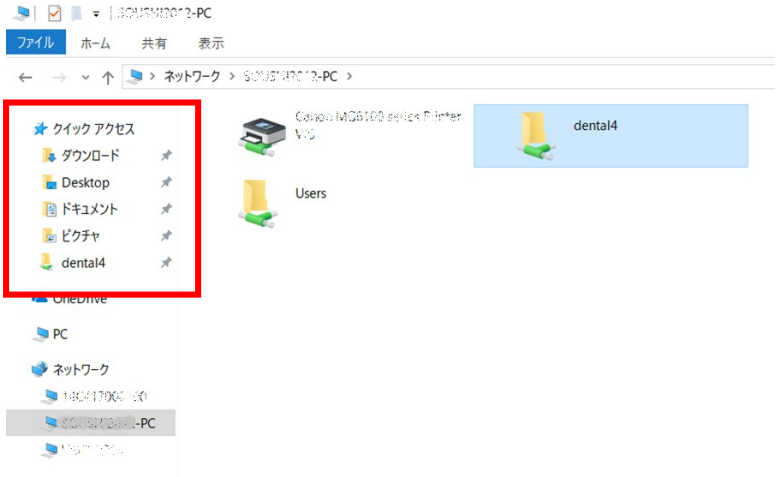
※ ネットワーク資格情報の入力を非表示設定にする方法を Windows10 後半に記載します。

5. 別のパソコンの Dental4 フォルダが表示されていれば確認完了です。

最後に設定を固定させておく為に、クイックアクセスにピン留めします。
「エクスプローラー」→「ネットワーク」で共有を確認した「Dental4」を右クリックし、
「クイックアクセスにピン留め」をクリックします。



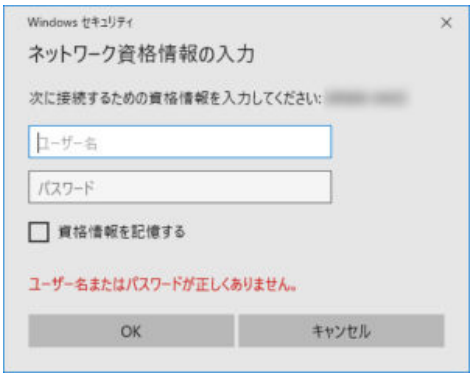
クイックアクセスに dental4 が追加されていれば成功です。



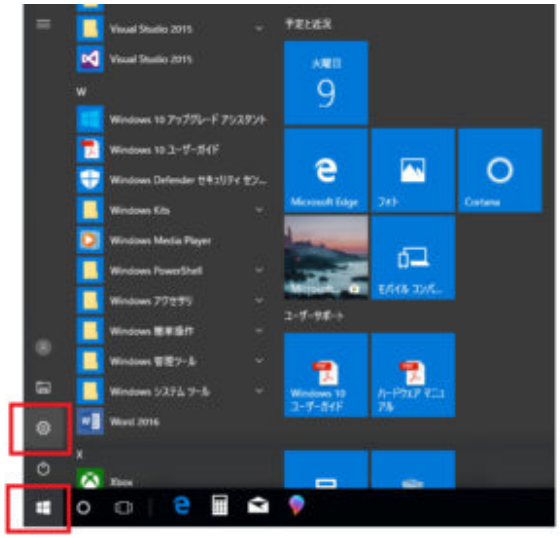
上記のご案内は一例です。
パソコンの状況により様々なパターンが考えられますので、接続がうまく行かない場合は、
ご近所のパソコン設定ができる電気屋さんや大型量販店のパソコンLAN接続出張サポートなどを
ご利用されると良いと思います。

大樹の院内LANの設定は「Dental4 フォルダを共有する」「DENTAL4.INI ファイルを書き換える」
この 2 点のみです。

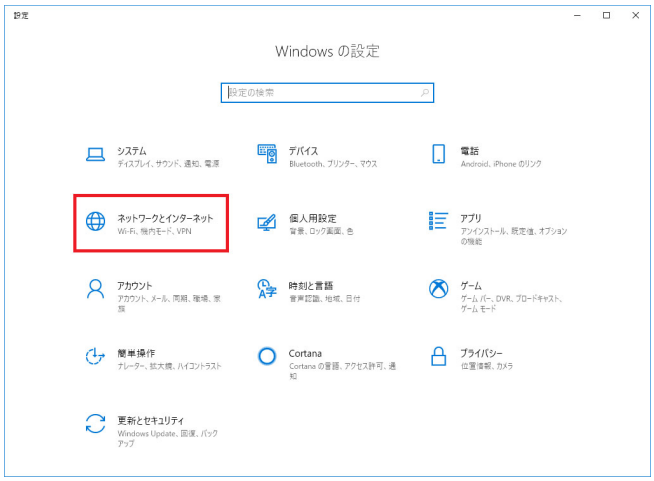
Windows Update 更新などの影響でパソコンの設定が変わってしまい、
共有フォルダを開こうとすると、「ネットワーク資格情報の入力」が表示されるようになり、
共有フォルダが開けなくなった場合などには、ネットワーク資格情報の入力を非表示設定してみるのも
1つの手かもしれません。



1、デスクトップ左下の Windows アイコンをクリックし歯車の「設定」をクリックしてください。



2、Windows の設定で「ネットワークとインターネット」をクリックしてください。



3、「状態」にある「共有オプション」をクリックしてください。



4、「すべてのネットワーク」の「パスワード保護共有」で

「パスワード保護共有を無効にする」にチェックを入れてください。

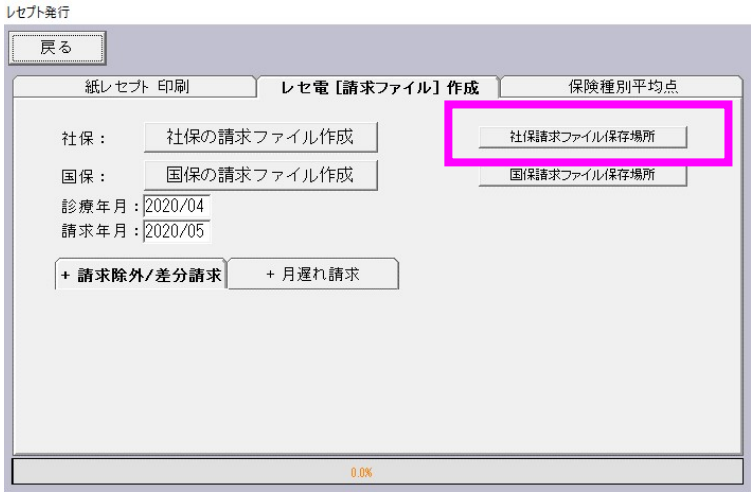
「変更の保存」で設定の完了です。



請求ファイル（RECEIPTS.UKE）を CD へ書き込む方法

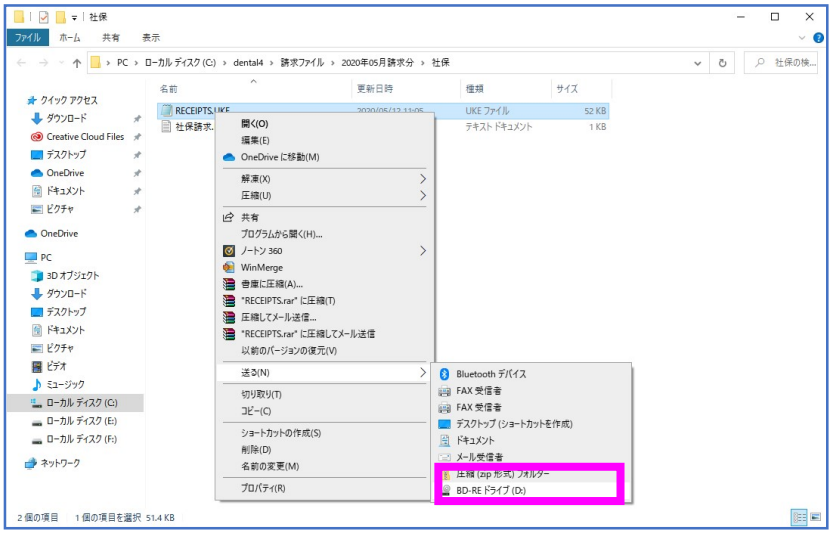
大樹で作成した請求ファイル（RECEIPTS.UKE）を CD へ記録し提出する際に、
CD へ書き込む操作方法をご説明します。
※パソコンやパソコンの OS によって異なりますので、参考としてください。
※例：社保請求（国保も同様です。）

大樹の「レセプト発行」→「社保の請求ファイル作成」→「社保請求ファイル保存場所」と進みます。

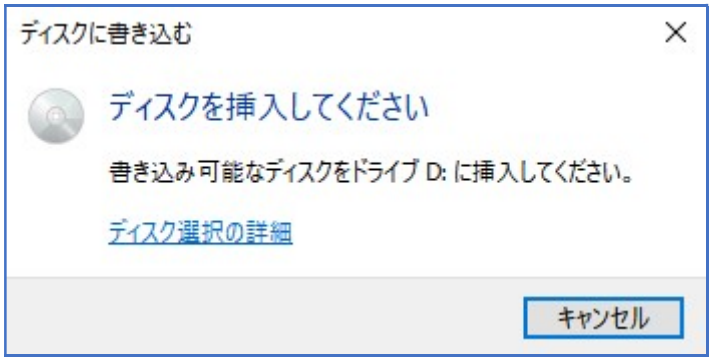


保存先が開かれ「RECEIPTS.UKE」「社保請求.log」ファイルが表示されます。
※ 「RECEIPTS」「社保請求」の場合があります。

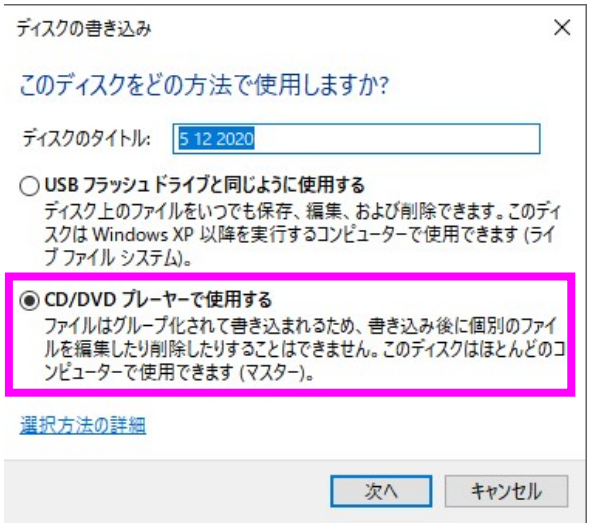
<u>請求に必要なファイルは「RECEIPTS.UKE」のみです。</u>
「RECEIPTS.UKE」ファイルを右クリックし「送る」をクリックしてください。
送る先として「DVD-RE ドライブ(D:)」や「BD-RE ドライブ(D:)」などの、
パソコンの CD ドライブを選択してください。



CD ドライブを選択すると、「ディスクを挿入してください」とメッセージが表示され、
パソコンによっては CD ドライブが自動で開きます。
※　自動で開かない場合は手動で開いてください。



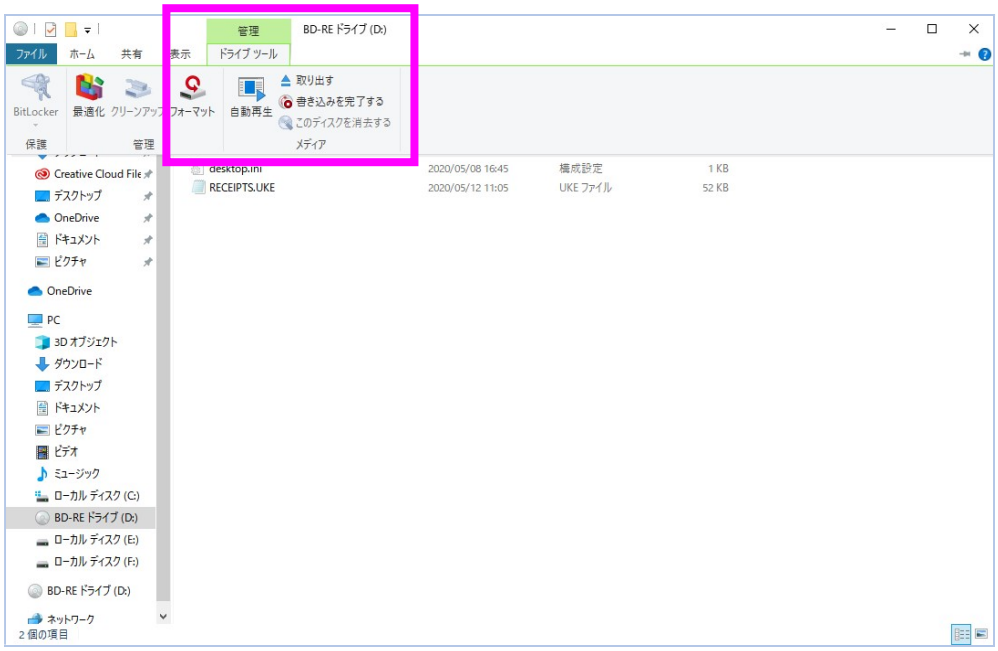
トレーに新品の CD-R を入れます。
パソコンが CD を認識すると書き込み方法を指定する画面が出ます。
変更しないデータなので「CD/DVD プレーヤーで使用する」にしてください。「次へ」で進みます。
※　ディスクのタイトルは日付のままなど変更しなくてよいです。



「次へ」で進むとディスクに書き込み準備ができたファイルとして
「RECEIPTS.UKE」が表示されます。
※　「desktop.INI」も表示される場合がありますがそのままで問題ありません。

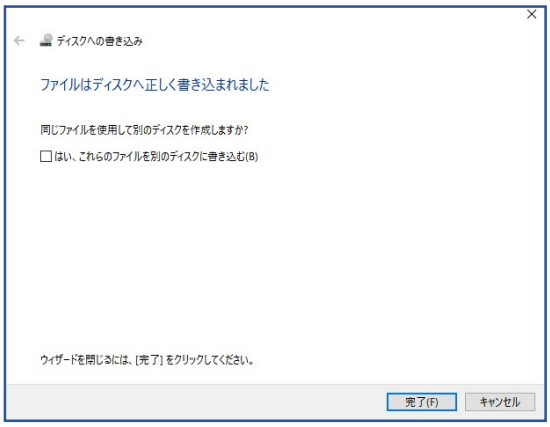


書き込み準備ができたファイルの上部に「管理」「ドライブツール」があり、そこから、
「書き込みを完了する」を選択します。



「このディスクを準備します」のメッセージが表示されます。
「ディスクのタイトル」や「書き込み速度」は変更する必要はありません。「次へ」で進みます。

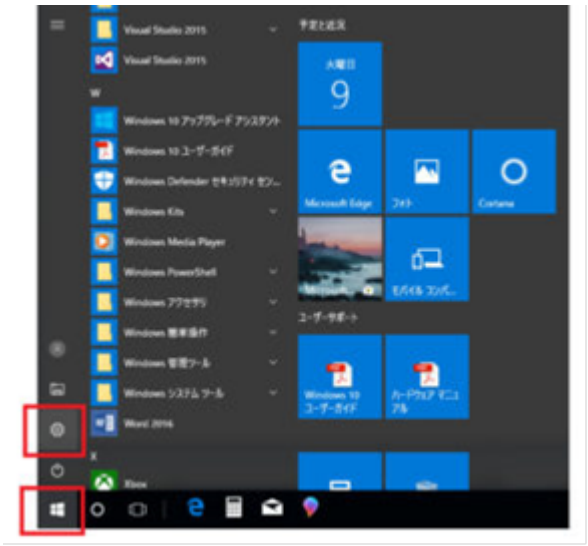
書き込みが開始され、完了すると、「ファイルはディスクへ正しく書き込まれました」と表示されます。
「完了」で作業を終了してください。



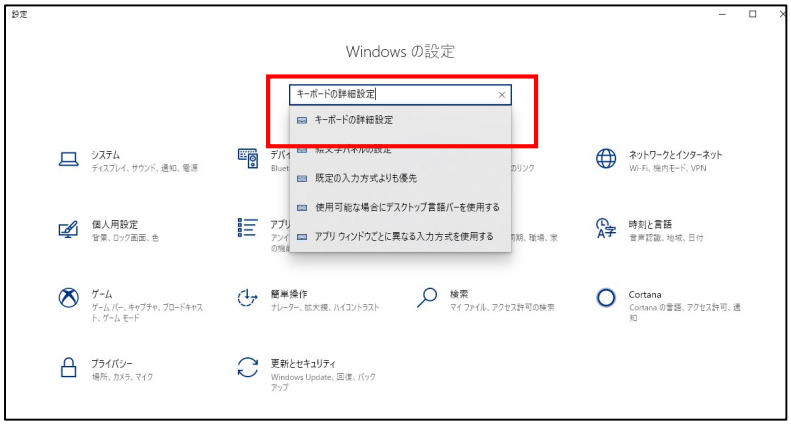
以上で CD 作成の作業は完了ですが、CD へ正常に書き込まれているかご心配な方は、
別のパソコンに作成した CD を入れていただき中身を確認されるとよいと思います。
別のパソコンで CD 内に「RECEIPTS.UKE」が表示されていれば、問題ありません。

患者検索画面で患者氏名(カナ)の入力するときに、入力モードが「全角かな」になってしまう場合、
「半角カナ」になるよう Windows10 の設定を変更してみてください。

1、デスクトップ左下の Windows アイコンをクリックし歯車の「設定」をクリックしてください。



2、設定の検索で「キーボードの詳細設定」を検索します。



3、入力方法の切り替えで「アプリウィンドウごとに異なる入力方式を設定する」にチェックを入れてください。

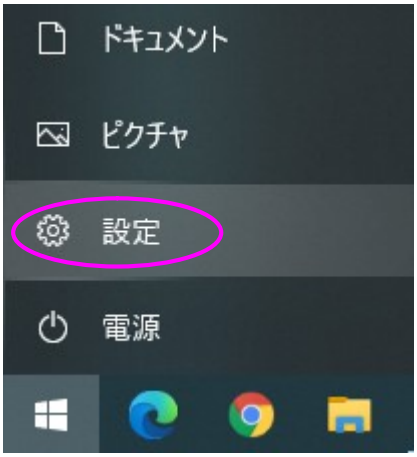


※　設定をしなくても Windows 基本機能で文字入力後キーボードの「F8」で半角カナに変換されます。

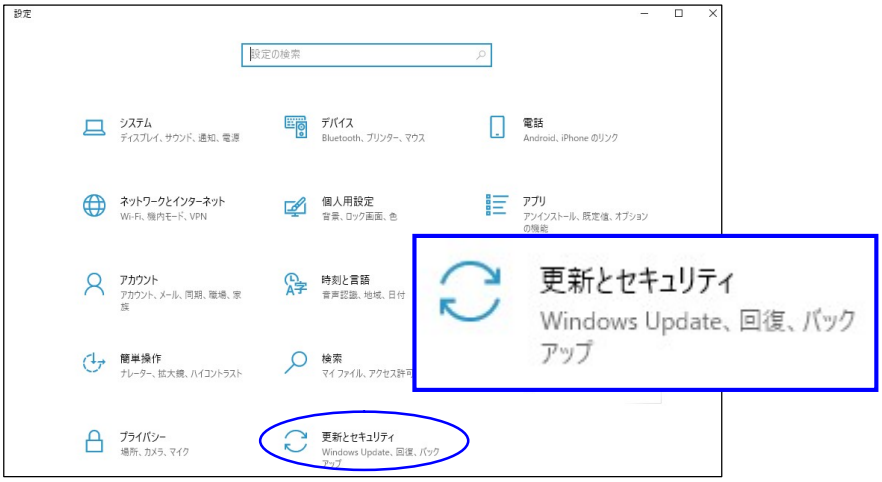
Windows Defender 除外設定方法。
大樹関係のアイコンが消えてしまった、点数改定作業中に「ウィルスの可能性が…」などと、
Windows Defender によってウィルスと誤認識されてしまう場合があります。
利便性を図るための機能がウィルスと誤認識されてしまっているので、ウィルスチェックの対象から除外することをお勧めします。（※ ウィルスではないのでご安心ください。）

設定方法

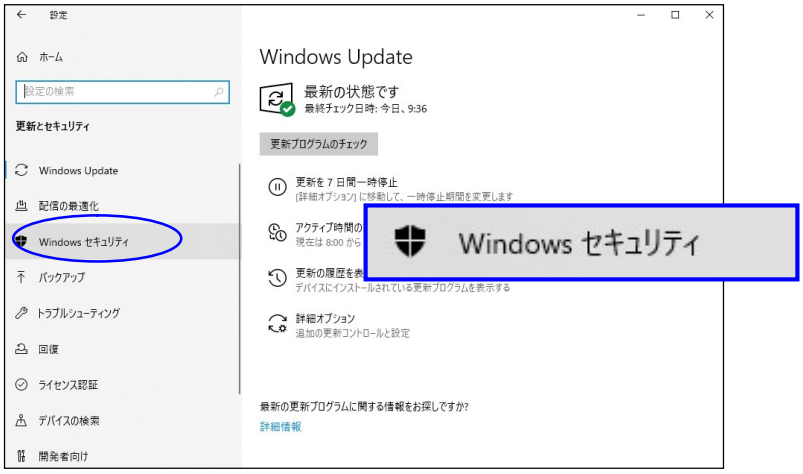
１．デスクトップ画面左下の Windows アイコンをクリックし設定をクリックします。



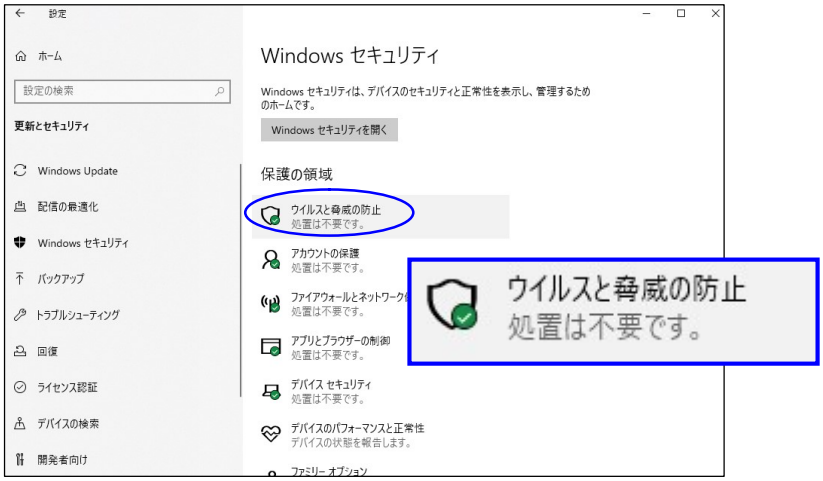
２．更新とセキュリティをクリックします。



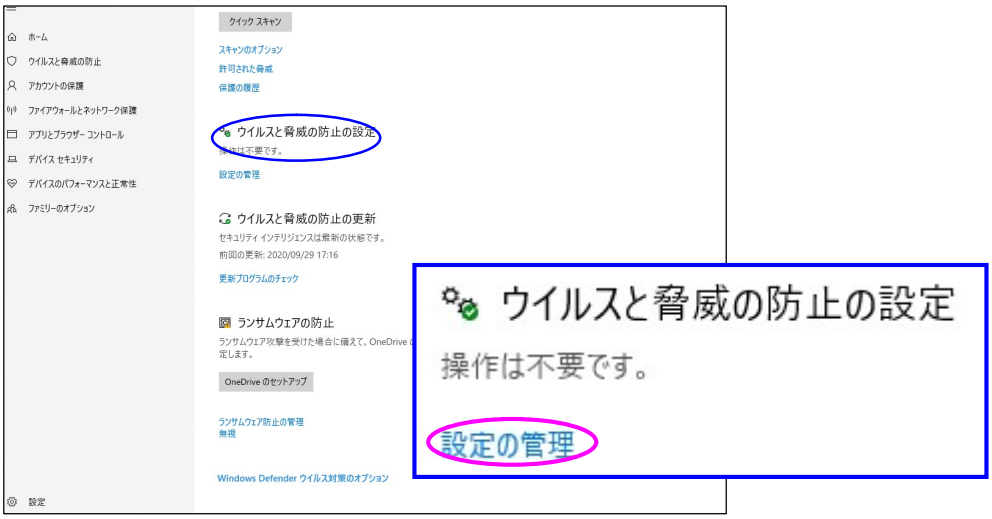
3．Windows セキュリティをクリックします。



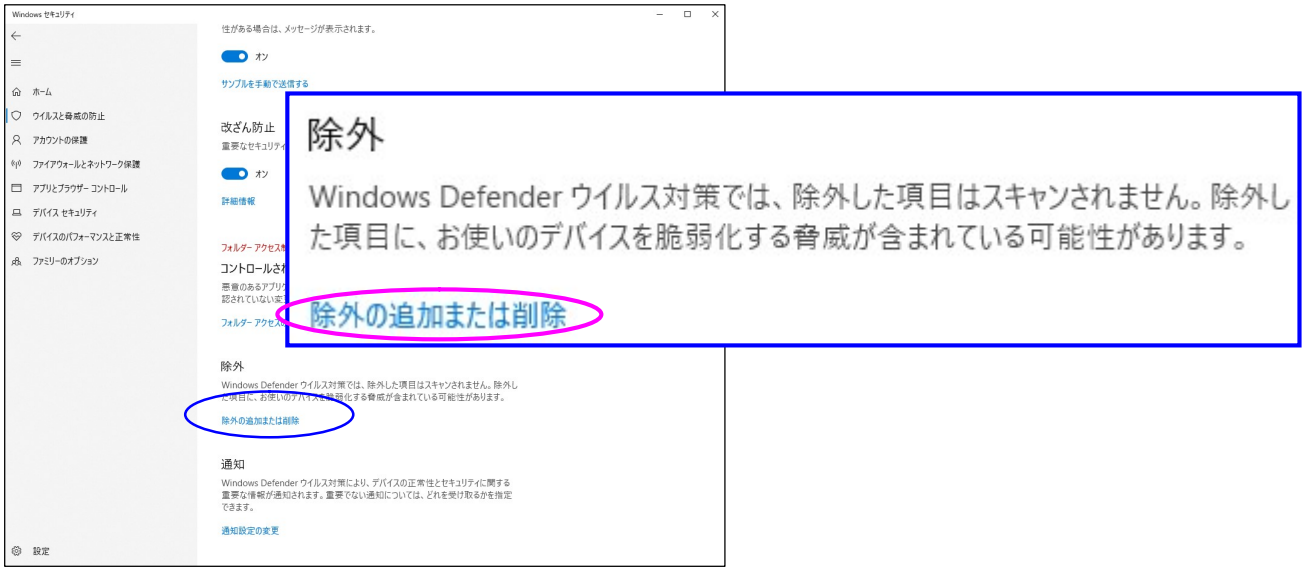
4．ウィルスと脅威の防止をクリックします。



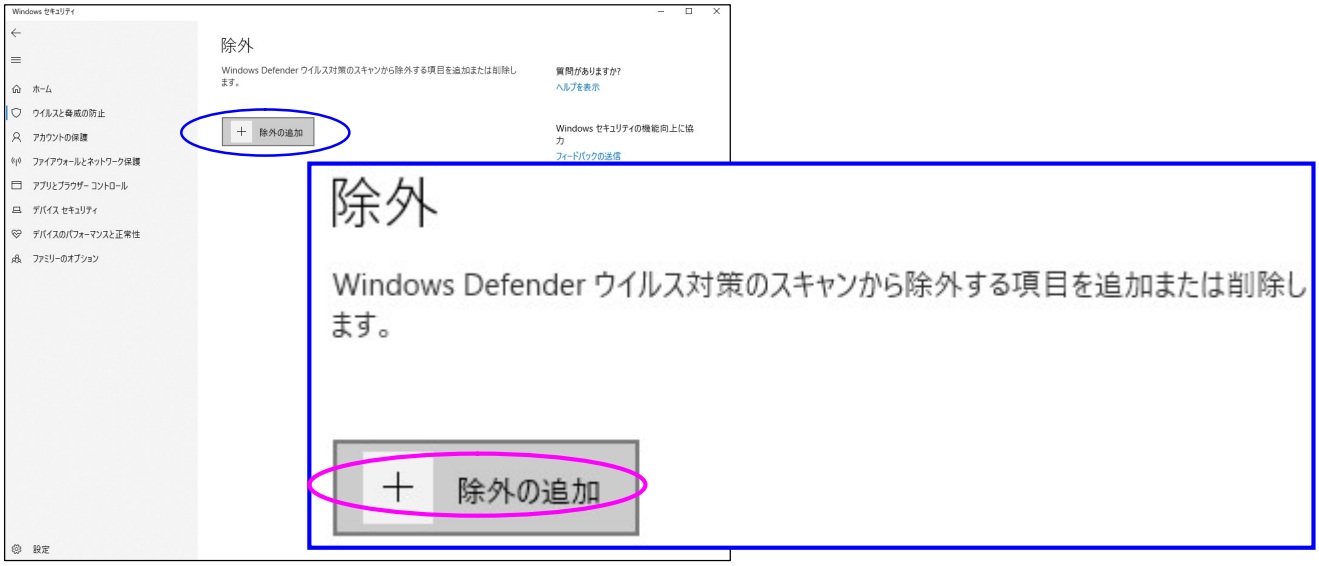
5．ウィルスと脅威の防止の設定の管理をクリックします。



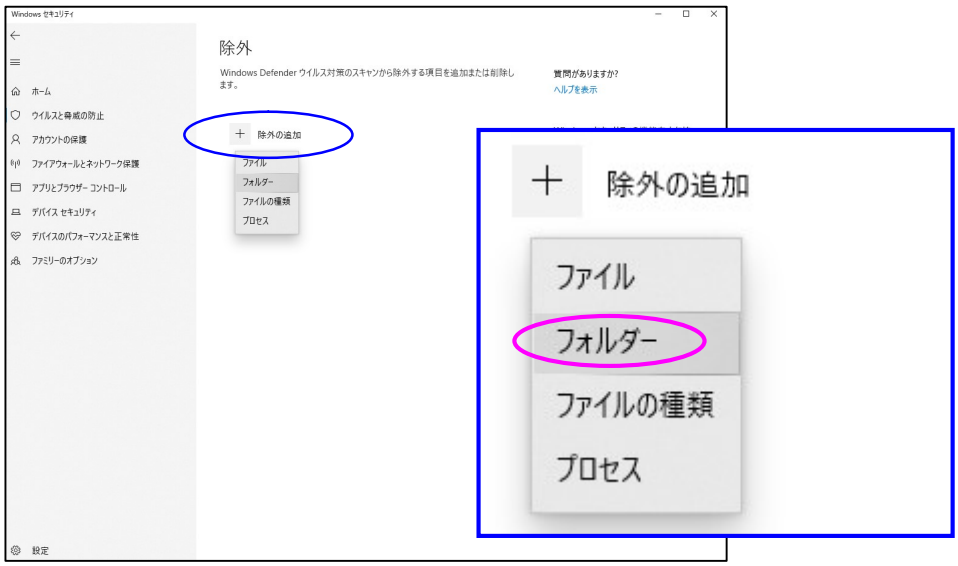
6．設定の管理から「除外」除外の追加または削除をクリックしてください。



7．「除外」から+除外の追加をクリックします。



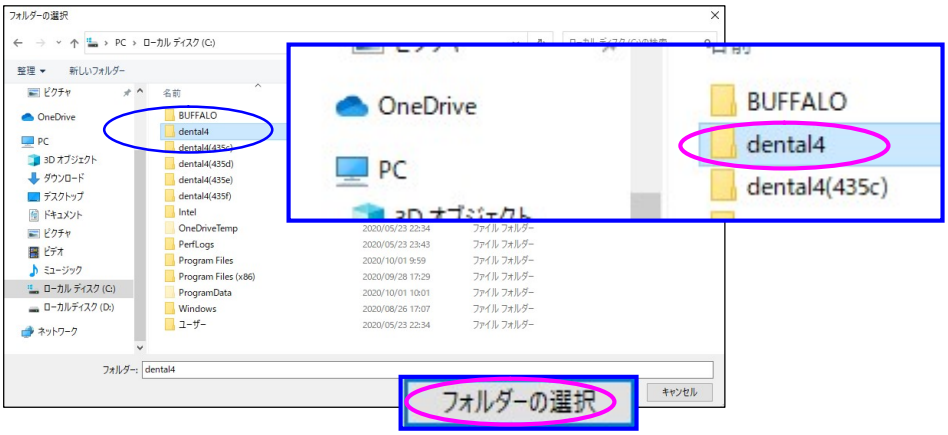
8．+除外の追加からフォルダーをクリックします。



９．除外対象のフォルダを選択する画面になります。
PC 内のローカルディスク(C:)を探します。ローカルディスク(C:)はパソコンによって
名前が異なる場合があります。例：Windows(C:)、パソコン会社(C:)、アルファベット数字(C:)など
様々ですが最後に(C:)と表示されています。



１０．ローカルディスク(C:)内の「dental4」をクリックし「フォルダーの選択」をクリックします。
「dental4」が大樹関係のフォルダーになります。



１１．C:¥dental4 が表示されていれば設定の完了です。



以上で Windows Defender 除外設定完了です。